

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
■ 株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
■ 同事務取扱所 （郵便物送付先）	中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
■ 電話照会先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 0120-78-2031（フリーダイヤル）
■ 同 取 次 窓 口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
■ 単 元 株 式 数	100株
■ 証 券 コ ー ド	7266（東京・名古屋証券取引所市場第一部）

当社ホームページ紹介

当社及びグループ会社の概要、財務・製品・採用・決算等の最新情報につきましては、ホームページにてご案内しております。
ぜひ、下記アドレスまでアクセスしていただきますようご案内申し上げます。

URL <http://www.imasen.co.jp/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。
配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

株主の皆様のお声をお聞かせください

当社では、株主の皆様のお声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7266**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jp へ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

IMASEN REPORT 09

第73期第2四半期報告書

2009.4.1-2009.9.30

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市宇柿畑 1 番地
TEL (0568) 67-1211（代表）

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第73期第2四半期の業績について、ご報告させていただきます。

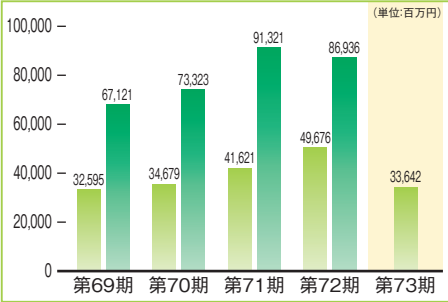


代表取締役会長
若山 恭二
代表取締役社長
増谷 修

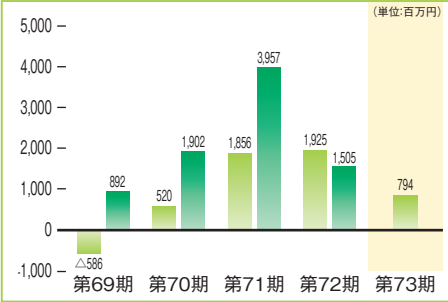
■第2四半期 決算ハイライト

売 上 が 落 ち 込 む 中、

売 上 高 336億円
前年同期比 32.3%減少



純利益 7億円
前年同期比 58.7%減少



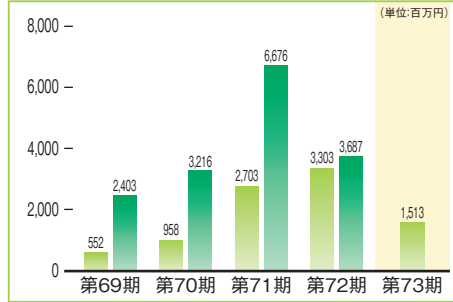
■ 第2四半期 ■ 通期

経営理念

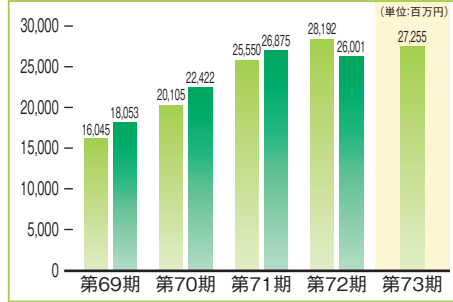
想像力を豊かにし、
これをより安く、

収益・財務体質の改善を進めています

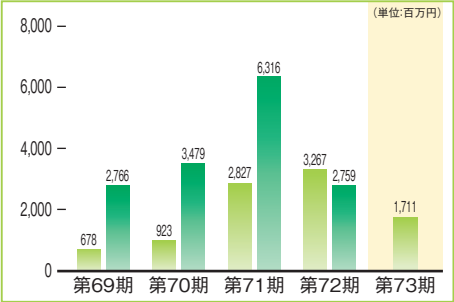
営業利益 15億円
前年同期比 54.2%減少



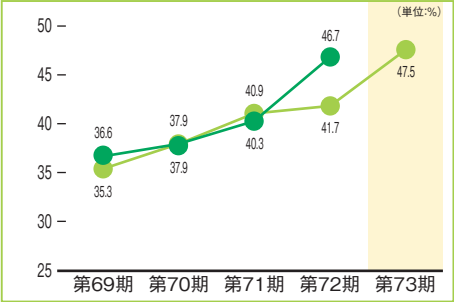
純資産 272億円
前年同期比 3.3%減少



経常利益 17億円
前年同期比 47.6%減少



自己資本比率 47.5%
前年同期比 5.8ポイント増加



● 第2四半期 ● 通期

Contents

株主の皆様へ 1

第2四半期決算ハイライト 1

東京モーターショーに出展 3

事業別営業の概況 6

決算の状況（連結） 7

会社の概況 9

株式情報 9

トピックス 10

特集企画 「IMASENを知る」第3弾 東京モーターショーに出展

IMASENは、10月23日から11月4日に千葉県・幕張メッセにて開催された日本最大の自動車ショー「第41回 東京モーターショー」に出展いたしました。
特集企画「IMASENを知る」第3弾となる今回は、**IMASEN**の製品力、技術力へのご理解を深めていただくため、この出展の様様を紹介いたします。

■ブースコンセプト

メカトロニクスで躍進するIMASEN！



第一営業部長 鈴木 宗厳

IMASENは、シートアジャスタという機構製品を主力として、グローバルに事業展開を行っています。創業は70年前の自動車用電気式警告器（ホーン）の量産化によってスタートした会社であります。現在では、シートアジャスタ以外にも、電子ユニット、ランプ、ホーンなどといった電装製品の領域でも多種多様な製品を提供しており、さらにその組み合わせによるメカトロニクス領域において、高付加価値製品を開発・提供しております。

今回はブースコンセプトとして、「メカトロニクスで躍進する**IMASEN**！」を掲げ、**IMASEN**の手掛ける全ての自動車部品を知っていただくことで、幅広い活躍をアピールすることを目指したブース作りを心掛けました。

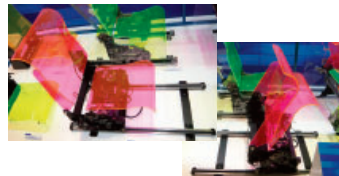
■展示製品紹介 ― 機構製品

1 シートアジャスタ

自動車部品関連事業における売上高の8割以上を占める主力製品です。リクライニング、スライド、ハイト等、各種アジャスタを単複合機能と呼応して、高機能化、軽量化などを進めております。

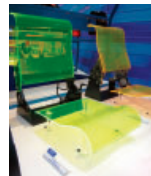
開発品（電子制御によってシートアレンジを行う高機能製品として開発。機構技術と電子技術の融合製品。）

パワーチップアップデバイス



3列目シートへの乗降を容易にした2列目用のシートアジャスタです。ワンタッチ操作でシート座面を跳ね上げ、電動で前方へスライドすることによりスムーズな乗り降りを実現させています。

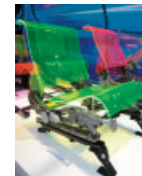
パワー前倒れ自動復帰デバイス



リア席のシートバックを遠隔ワンタッチ操作により、シートから荷室、また荷室からシートへと自在にアレンジすることを可能にしています。

量産品

ホンダ向け8WAYパワーシートアジャスタ



リクライニング、スライド、ハイト（フロント、リア）を電動で操作するパワーシートアジャスタです。高張力鋼板採用による軽量化を実現するとともに、新ブレーキ機構採用により安全性を向上させています。

■ブース構造について

注目ポイント「見て、操作して、楽しめる展示」



＜操作盤＞

シートアジャスタは自動車の座席の骨格部品であり、通常は人の目に触れることはほとんどありません。このように、**IMASEN**製品の多くが、車内の見えない場所に搭載されていることから、どこに採用されているのかが一目で分かるよう、天井を除去した3列席を擁するクルマのレプリカの中に、**IMASEN**製品を配置して展示いたしました。

また、操作盤を設置し、シートアジャスタについては、電動制御による動作状況を、ランプについては点灯状況などを操作体験していただくことで、分かりやすく、かつ楽しんで見ていただけるよう、工夫をいたしました。

■展示製品紹介 ― 電装製品

3 各種電子ユニット

自動車技術は電子化が進んでおりますが、**IMASEN**では電子ユニットを製品の第二の柱として位置付け、その強化に努めております。電子ユニットとは、車内の各種センサーやスイッチなどの信号を識別してモーターやランプ等をコントロールする制御機器であり、**IMASEN**では、多機能・単機能の多種、多様な製品を開発・提供しております。

BCM（Body Control Module）



ドアロック、ワイパー、フラッシャー等9種類の機能を統合させた電子ユニットです。16ビットマイコンによる制御と両面実装により小型多機能ユニットを実現させています。

メモリーパワーシートECU



乗員の最適な座席位置を記憶し、ワンタッチ操作で、記憶した座席位置への調整を電動で行わせるための制御機器です。

■展示製品紹介 ― 電装製品・その他の製品

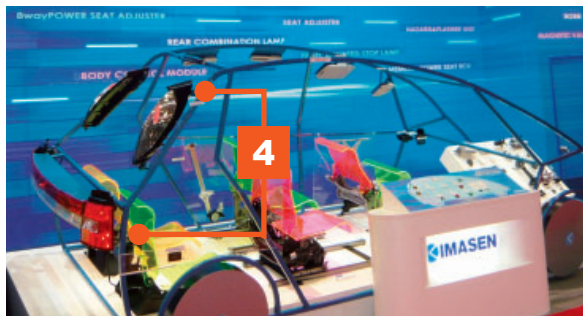
4 各種ランプ

IMASENでは大型のリアコンビネーションランプをはじめ、外装・内装の各種ランプを開発・提供しております。



三菱アイミーブ向け
リアコンビネーションランプ

環境を配慮した省電力光源のLEDをストップ&テールに採用しています。車体ボデーと一体感のある流線形のデザインが特徴です。



■出展を終えて

新しい自動車社会に向けて

今回のモーターショーは、ハイブリッドカー、電気自動車に代表されるように、環境意識の高まりに伴う新しい自動車社会の訪れを強く実感させる内容でありました。

IMASENにおきましても、自動車の燃費改善に貢献できる軽量化への取り組みを一層強化していくほか、楽しく、魅力的なカーライフを支えるため、さらなる安全性・快適性の向上を実現する製品開発に取り組んでまいります。

今後の**IMASEN**の活躍に、どうぞご期待いただきますようお願い申し上げます。



その他の製品

その他、**IMASEN**が手掛ける各種製品群を展示いたしました。

ウインドレギュレータ
(Xアーム式)



ホーン
(平型)



ユーティリティボックス
／アッシュトレイ (灰皿)

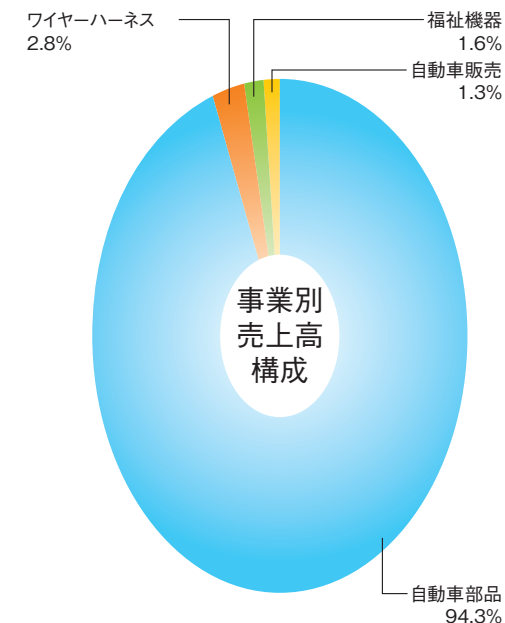


マグネチックバルブ
(排気ガス再循環システム)



■事業別営業の概況

国内外の自動車減産に対し原価低減を進めています



自動車部品関連事業

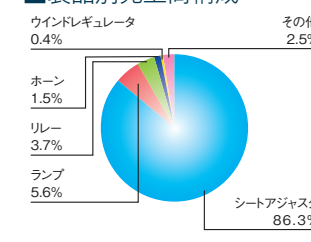
売上高 31,727百万円
(前年同期比 32.2%減)
営業利益 1,493百万円
(前年同期比 52.0%減)



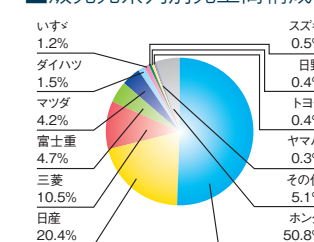
パワーシートアジャスタ

前期後半からの自動車生産の急激な落ち込みにより、売上高は大幅な減少となり、利益面でも減益となりましたが、落ち込んだ受注に対応し、徹底したコスト削減に努めた結果、黒字体質への回復を果たしております。なお、受注水準に関しても、前期末から今期初を底として、徐々に回復傾向に転じております。

■製品別売上高構成



■販売先系列別売上高構成



ワイヤーハーネス関連事業

売上高 921百万円
(前年同期比 48.2%減)
営業損益 △54百万円
(前年同期比 -)

前期後半からの工作機械需要の冷え込みが続いていることから、大幅な減収となり、損失計上となりました。

福祉機器関連事業

売上高 542百万円
(前年同期比 8.8%増)
営業利益 74百万円
(前年同期比 68.2%増)

電動車いすを中心とした販売が好調に推移し、原価低減にも努めた結果、増収増益となりました。

自動車販売関連事業

売上高 450百万円
(前年同期比 24.3%減)
営業損益 △9百万円
(前年同期比 -)

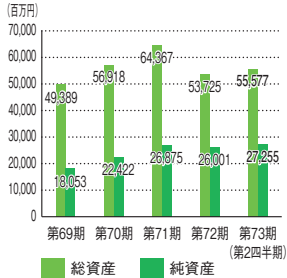
国内自動車販売は依然として低迷が続いており、目立った新車効果もなかったことから、減収、損失計上となりました。

■決算の状況（連結）

四半期連結貸借対照表				(単位：百万円)			
年度別	前第2四半期	当第2四半期	前連結	年度別	前第2四半期	当第2四半期	前連結
科目	連結会計期間末 (平成20年9月30日)	連結会計期間末 (平成21年9月30日)	会計年度末 (平成21年3月31日)	科目	連結会計期間末 (平成20年9月30日)	連結会計期間末 (平成21年9月30日)	会計年度末 (平成21年3月31日)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	36,380	29,275	26,847	流動負債	27,550	19,130	17,883
現金及び預金	3,491	5,857	4,898	支払手形及び買掛金	16,080	10,393	9,887
受取手形及び売掛金	23,703	17,414	14,734	1年内償還予定の社債	500	302	—
たな卸資産	6,180	4,304	4,867	短期借入金	3,736	2,956	3,231
その他	3,009	1,701	2,351	未払法人税等	1,149	874	74
貸倒引当金	△4	△1	△3	賞与引当金	1,165	1,005	936
				その他	4,917	3,598	3,753
固定資産	29,003	26,302	26,877	固定負債	9,641	9,192	9,840
				社債	3,805	3,500	3,803
有形固定資産	25,230	23,001	24,011	長期借入金	1,255	2,175	2,592
建物及び構築物（純額）	7,874	7,332	7,481	退職給付引当金	1,844	1,820	1,872
機械装置及び運搬具（純額）	8,476	7,150	7,789	その他	2,736	1,696	1,573
その他（純額）	8,879	8,518	8,739	負債合計	37,192	28,322	27,723
無形固定資産	308	279	279	(純資産の部)			
その他	308	279	279	株主資本	26,514	26,471	25,816
投資その他の資産	3,464	3,021	2,587	資本金	4,395	4,397	4,396
投資有価証券	3,065	2,684	2,271	資本剰余金	4,128	4,130	4,129
その他	434	372	351	利益剰余金	17,995	18,051	17,397
貸倒引当金	△35	△35	△35	自己株式	△5	△107	△107
資産合計	65,384	55,577	53,725	評価・換算差額等	728	△88	△741
				その他有価証券評価差額金	932	834	550
				為替換算調整勘定	△204	△922	△1,291
				少数株主持分	949	872	925
				純資産合計	28,192	27,255	26,001
				負債純資産合計	65,384	55,577	53,725

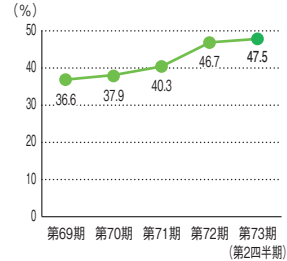
POINT① 総資産・純資産

売上の回復に伴い、売掛権が増加したことから、総資産は55,577百万円（前期末比1,852百万円の増加）となりました。純資産につきましては、利益剰余金の増加などにより、27,255百万円（前期末比1,253百万円の増加）となりました。なお、1株当たり純資産は1,497円72銭となっております。



POINT② 自己資本比率

総資産・純資産ともに増加となりましたが、純資産の増加率がやや上回ったことから、自己資本比率は前期末から0.8ポイントの改善となる47.5%となり、財務体質の強化が進んでおります。

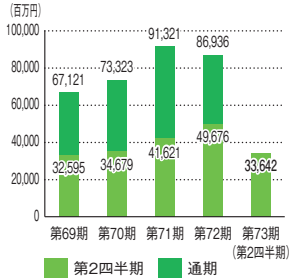


■決算の状況（連結）

四半期連結損益計算書				(単位：百万円)			
年度別	前第2四半期	当第2四半期	前連結	年度別	前第2四半期	当第2四半期	前連結
科目	連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	科目	連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	POINT③	49,676	33,642	86,936			
売上原価		42,301	29,054	75,901			
売上総利益		7,375	4,587	11,035			
販売費及び一般管理費		4,072	3,074	7,348			
営業利益	POINT④	3,303	1,513	3,687			
営業外収益		136	305	535			
営業外費用		171	107	1,464			
経常利益		3,267	1,711	2,759			
特別利益		55	27	56			
特別損失		210	107	528			
税金等調整前四半期（当期）純利益		3,113	1,631	2,287			
法人税、住民税及び事業税		1,204	947	497			
法人税等調整額		△65	△105	200			
少数株主利益又は少数株主損失（△）		48	△5	82			
四半期（当期）純利益		1,925	794	1,505			

POINT③ 売上高

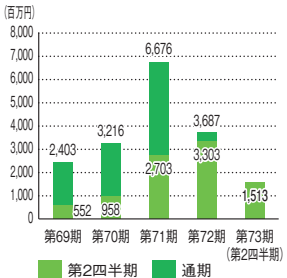
国内外における自動車生産の落ち込みにより、前年同期比で大幅な減収となりました。なお、海外事業については、決算期のずれがあることから、特に受注の落ち込みが大きかった1～6月の実績を反映したものであります。



四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）				(単位：百万円)			
POINT⑤	年度別	前第2四半期	当第2四半期	前連結	年度別	前第2四半期	当第2四半期
科目		連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	科目	連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,653	2,611	7,978	営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,466	△260
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,466	△260	△5,276	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,001	△1,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,001	△1,369	△1,971	財務活動によるキャッシュ・フロー	△106	99
現金及び現金同等物に係る換算差額		△106	99	△387	現金及び現金同等物の増加額・減少（△）額	△921	1,080
現金及び現金同等物の期首残高		4,217	4,559	4,217	現金及び現金同等物の期首残高	4,217	4,559
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高		3,295	5,640	4,559	現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	3,295	5,640

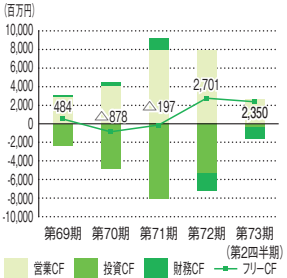
POINT④ 営業利益

国内外における大幅な売上の減少による減益要因に対し、グループを挙げて緊急対策を含めた総原価低減に取り組んだものの、営業利益は前年同期を1,789百万円下回る1,513百万円となりました。



POINT⑤ フリーキャッシュ・フロー

利益額の減少により、営業活動によるキャッシュ・フローが減少したものの、大幅な設備投資の抑制により、投資活動によるキャッシュ・フローが減少し、フリーキャッシュ・フローは2,350百万円となりました。なお、財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済に充てたものであります。



■会社の概況（平成21年9月30日現在）

■会社の概要

社名	株式会社 今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.
設立	昭和14年2月1日
資本金	4,397百万円
主な事業内容	自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売
従業員数	3,884名（連結）
本社所在地	愛知県犬山市字柿畑1番地
営業所	東京支店／広島支店／栃木支店
工場	名古屋工場／岐阜工場／八百津工場 岡山工場／春里工場／可児工場／広島工場 株式会社九州イマセン
海外拠点	台湾／フィリピン／米国／ 中国／タイ／インド

■株式情報（平成21年9月30日現在）

■株式の状況

発行可能株式総数 49,195,000株

発行済株式の総数 17,829,565株

株主数 4,234名

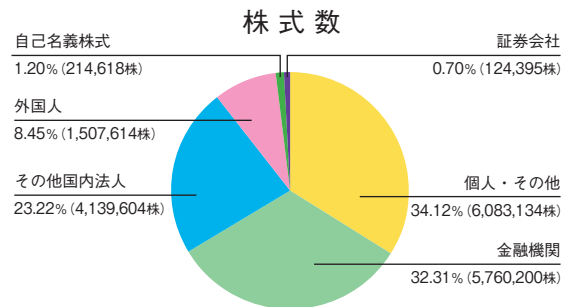
■大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	所有株数（株）	比率（％）
本田技研工業(株)	1,066,250	5.98
I M A S E N取引先持株会	732,600	4.10
日本マスタートラスト信託銀行機（信託口）	697,700	3.91
ヤマハ発動機(株)	613,750	3.44
(株)三菱東京UFJ銀行	605,000	3.39
日本トラスティ・サービス信託銀行機(信託口)	556,800	3.12
今仙電機従業員持株会	523,116	2.93
(株)第三銀行	505,000	2.83
東京海上日動火災保険(株)	505,000	2.83
日本トラスティ・サービス信託銀行機（中央三井）	468,000	2.62

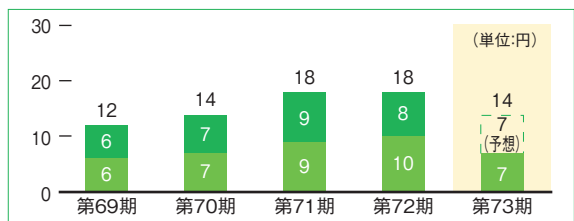
■役員

代表取締役会長	若山 恭二	取締役	坪内 明
代表取締役社長	増谷 修	取締役	山田 博
専務取締役	上西 正司	取締役	藤掛 治
専務取締役	梅田 敏雄	常勤監査役	河村 則行
常務取締役	宇根 敏昭	常勤監査役	大澤 慶文
取締役	植松 俊夫	監査役	尾関 誠治
取締役	渡邊 和彦	監査役	宮澤 俊夫
取締役	丹羽 和秋		
取締役	中島 良紀		

■所有者別分布状況



■配当金の推移



■トピックス

福祉機器関連事業の強化のため社屋兼工場の新設を決定

IMASENでは、福祉機器関連事業の今後の一層の事業強化を図るため、同事業を担当する株式会社今仙技術研究所の社屋兼工場を新設することを決定いたしました。

用地となるテクノプラザ（岐阜県各務原市）は、VR技術やロボット技術など、科学技術の研究開発拠点として岐阜県が整備を進める産業団地であり、**IMASEN**では、こうした立地条件を活かし、今後の福祉社会の一端を担う新製品の開発研究に取り組んでまいります。



＜新社屋兼工場の概要＞

- ・建物 鉄骨造2階建
（現状面積の約1.5 倍）
- ・所在地 岐阜県各務原市須衛町4・6丁目
（テクノプラザ東側隣接）
- ・操業開始予定 平成23年1月

「名証 I R エキスポ2009」に出展

IMASENは7月17・18日の2日間、名古屋市中企業振興会館で開催された「名証IRエキスポ2009」に出展いたしました。当社ブースでは、個別の説明を行ったほか、「ミニ説明会」を実施し、多くの一般投資家の方々に当社の現状と将来性について理解を深めていただきました。

今後も、積極的なIR活動を通じて、株主・投資家の皆様に適時適切な情報提供やコミュニケーションの充実に努めてまいります。

